

こうさい通信

NO. 78 平成27年1月

発行 社会福祉法人 東京弘済園

特別養護老人ホーム

弘 済 園

〒181-0013

東京都三鷹市下連雀 5-2-5

TEL 0422-47-8965

FAX 0422-41-1783

tokuyou_2f@kosaien.or.jp

http://www.kosaien.or.jp/



年頭のご挨拶



【園長・常務理事 田中 潔】

新年明けましておめでとうございます。
年の初めのお慶びを申し上げます。



- 今年は、羊（ひつじ）年です。羊の印象といえば「可愛らしい、おとなしい、優しい、従順、穏やか、弱い、孤独を好まずいつも仲間と群れている」などが挙げられます。羊は反撃する牙を持たず、逃げ足も遅いので、犬や狼などの野獣に襲われればやられます。弱きものの典型であり、優しさ、従順、柔和、穏やかさの象徴と言えます。
- キリスト教では説教する人を「牧師」と呼び、教祖であるイエスのことを「羊飼い（牧者）」とも言います。人間を「迷える子羊」に譬え、それを導き、見守るという意味かと思います。羊は生贄として宗教儀式に捧げられ、毛（羊毛）は織物糸になり、皮はコートやバッグに使われ、昔は紙（羊皮紙）としても使われました。そしてその肉（マトン）は人間の食糧となります。遊牧民にとって羊はなくてはならない存在であり、彼らの命と生活を支えてきました。草しか生えない不毛の地ではまともな農業は不可能ですので、草と水だけで成長する羊（地域によっては牛、馬、トナカイなど）を飼って世話をし、その肉を食べるしか生きる道はありません。弱く、おとなしく、従順な羊はそうした運命を静かに受け入れ、その地の人々の命と生活を繋いできました。人々は羊におおいに感謝しなければなりません。
- 今年は3年に一度の介護保険制度・介護報酬の見直しの年です。国の財政難から今回も厳しい改定が予想されますが、どのような形になっても東京弘済園は誠実で着実な事業を進めて参ります。皆さま、くれぐれもご自愛ください。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

【弘済園 施設長 市川 努】

新年明けましておめでとうございます。
謹んで新春のお祝いを申し上げます。



昨年暮れより発症しましたインフルエンザ等に関して、ご利用者、ご家族様にはご心配並びにご迷惑をおかけしました。また、せっかくのお正月の面会の機会を閉ざしてしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。

今年は干支にちなんで、穏やかな年であればと望んでおりますが、4月には介護保険法の改正により、介護報酬の大幅な減額、利用者の負担増等と今まで以上に厳しい状況が予想されます。しかし、当園では今年度のモットーである「笑顔でおもてなし」の心を大切に、ご利用者の皆様の笑顔溢れる暮らし作りに向けて、今年も職員一同努めてまいります。

皆様のご理解、ご協力の程を宜しくお願い致します。

2015年の抱負

利用者の皆様に今年の抱負を聞いてみました!!



今年こそは歩けるようになりたい!!

2階 秋山キヨノ様



今年も美味しい物をいっぱい食べたい!
とんかつでも良いから
お肉が食べたいなあ…。

3階 小池ミチコ様

今年も元気に過ごし、
お手伝いをいっぱいしたい。

4階 岩満芳子様



健康な1年が
送れますように。。

3階 大野一江様



病気にならないように、
元気に暮らしていきたい。
それが一番大切な事だと思います。

2階 佐藤ちよ様





世の中の景気が
良くなりますように。

2階 藤橋ミキ様



元気に過ごしていきたい。

4階 本多千代子様

今までも人生を謳歌してきたけれど、
もっともっと人生を楽しみたい！

3階 加藤香織様



あまり病気をせず、皆様に
ご迷惑がかからないように
過ごしていきたい。

2階 横山ヒサ様



今年も、旦那と一緒に居たい。

4階 井澤幸子様



今年も変わらず
みんな健康で過ごせますように！

3階 三樹ヨシ子様





平成26年 忘年会報告



12月14日、各フロアにて忘年会が開催されました。
2階ではチョコレートムース作りと職員による年末健康運動、3階ではフルーチェ作りと職員による紙芝居桃太郎、4階ではプリン作りと職員によるハンドベル演奏などが催され、皆さん思い思いに一年を締めくくられておりました。
今年の昼食はカニとイクラの入った「かにバラちらし」です。いつもよりも少し豪華な昼食を、皆さん笑顔で箸も進み良く召し上がられていました。



2階 甘い香りに誘われて、途中で味見をした方もいました（笑）



3階 職員による桃太郎さんは、無事、鬼退治をしてくれましたでしょうか（笑）！？



4階 プリンを皆様と一緒に作りました！職員によるハンドベルも、大盛況で幕を閉じました！



かにバラちらし膳

笑顔で
また良い1年を！



生活写真館

阿久津様 100歳のお祝い



家族交流会①



家族交流会



イルミネーション



園内散歩



喫茶コスモス



タヲ太鼓



オシャレの会



喫茶やすらぎ



職員ニュース

新人職員

瀬口淳子CW (パートタイマー4階平成26年10月から)

工藤浩 CW (派遣職員 3階平成26年12月から)

退職

高松知子CW (1月9日付)

異動

浅野隆介CW (4階から2階へ 1月7日付)

誕生

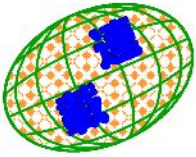
遠山真一CW 第1子誕生 結月(ゆづき)ちゃん

お礼

第三者評価

ご家族アンケートにご協力
いただきありがとうございました。

結果については次回の
家族会でご報告させて
頂きます。



健康講座 第37回

(田中 潔 常務理事)



インフルエンザ流行と対処

- 真に残念なことですが、年末から年始にかけて弘済園でインフルエンザ(および疑い)の大流行があり、入所者25名、職員7名、合計32名が発症しました。弘済園では昨年10～11月に入所者全員、職員全員にインフルエンザ予防のワクチン接種をおこない、かつ職員は手洗い・うがい・マスク着用を励行しておりましたが、それにもかかわらず集団発生致しました。幸いにも患者の隔離、検査・治療の徹底により1月6日には流行は収束し、一同ほっとしているところです。
- ワクチン接種により、罹患率を下げ、たとえ罹患しても重症化を防ぎ死亡率を下げるなど、ワクチンには大きな効果がありますが、ワクチン接種だけではインフルエンザを完全に予防することはできません。ワクチンが効くウイルスと実際に流行したウイルスの型(亜型)が異なれば効きませんし、接種した人の抗体価が十分に上昇しなかったり、体調不良であればインフルエンザに罹ってしまいます。予防接種に加えて、常日頃より栄養、休養、睡眠、衛生などに十分に配慮し、手洗い・うがい・マスク着用を励行し、不要な外出・面会を避けるなどがぜひ必要です。
- 利用者に高熱・筋肉痛・風邪症状などが現れインフルエンザが疑われた場合、直ちに病院受診し、検査・治療を受ければ良いのですが、具合の悪い90歳もの高齢者を病院に搬送すると、搬送自体が苦痛であり、周囲に激しい咳をしている患者が一杯いる寒い外来で1～2時間も待たされ、また、隔離する個室がなければたとえ重症でも病院は(他の患者への感染を恐れて)入院させてくれないので、利用者は施設に戻ることにになります。病院受診するとかえって病状が悪化するという皮肉な結果になってしまいます。そこで弘済園では、インフルエンザ診断キットと特効薬タミフルを予め購入しておき、重症者を除いては病院受診をせず、園長(産業医)が診察・診断し、施設においてただちに治療を開始することにしております。今回の流行でもこの体制が大いに効力を発揮致しました。

ご芳志ありがとうございました (平成26年10月～12月)

◆寄付◆

岩村義晴様 窪田美恵子様 斉藤芙美子 清水千枝様
高橋七五三様 萩原孝子様 廣島淑子様 山崎芳克様

◆寄贈◆

加藤秀勝様 (有)瑞光園様 鈴木睦子様 瀧孝子様
長嶺修様 萩原孝子様 和田裕子様

(50音順)

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。

まだ寒い日が続きますが、心機一転頑張りたいと思います。2015年も、よろしくお願い致します。

浅野 (記)